学校番号	122

平成31年度　　芸術科

教科	芸術	科目	美術Ⅲ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	「高校美術３」　（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰ、Ⅱで学んだことをより社会において実用的に使えるよう、自己中心的表現ではなく他者に見てもらい評価される主題にしている。展覧会や公募に出品し、社会から見た自分の評価を受け入れ、個人が社会に参加できるよう指導している。
・鑑賞では、優秀作品と自分の作品を比較し、自己の反省点を記入させることで、次の制作意欲を湧かせ、より完成度の高い作品制作ができるよう指導。

２　学習の到達目標

美術の創造的な諸活動を通して、美的体験を豊かにし、生涯にわたり美術を愛好する心情と美術文化を尊重する態度を育てるとともに、感性と美意識を磨き、個性豊かな美術の能力を高める。

３　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	美術の創作活動の喜びを味わい、多様な表現方法や美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創作活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさなどから主題を生成し、しっかりとした意図で表現する。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、意図に応じて表現方法を工夫している。	鑑賞を通して、美術作品などの表現手段や技法などを理解し、その背景も含めて良さを味わおうとする。
評価方法	制作の様子、学習活動からの関心、意欲、作品への取り組み。	制作への準備、学習活動からの関心、意欲、制作途中の作品評価。	創意工夫、学習活動からの関心、意欲、制作途中の作品評価。	発言・質問内容、学習活動からの制作意欲、自身のこだわり、作品評価。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

４　学習の活動

学 期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	デザイン演習	**〔デザイン〕** **・ロゴタイプ** **・キャラクターデザイン他、様々なデザインを学ぶ。** **・ファッションデザイン**	○	○	○	○	a:ビジュアルデザインに対する興味、関心。 b:既存のロゴやキャラクターを学んだ後に、自身を表現する。 c:平面作業の正確さと丁寧さ。 d:アナログではあるが用具を用いての緻密で正確な作業の理解他。	学習活動からの関心・意欲・態度 作品評価
2学期	版画演習	**〔孔版〕〔凸版〕** **・ランゲージアート** **・ステンシル** **・消しゴムはんこによるグリーティングカード制作**	○	○	○	○	a:自己の主張を表現する手段に関心を持つ。 b:自己の主張にあった素材を考え、孔版を意識して制作する。 c:版画技法の技術習得。 d:版画技法の種類と効果の理解他。	学習活動からの関心・意欲・態度・創意工夫 作品評価
3学期	研磨演習	**〔サンドブラスト〕** **・ガラス素材の卒業記念作品をサンドブラストにて制作**	○	○	○	○	a:マスキングの意味を意識して、感情を込めて取り組む。 b:個々の想いを平面デザインにて表現する。 c:単色の作業であるので、グラデーションを意識した吹き付け時間の長 d:単色の作業であるので、グラデーションを意識する。	学習活動からの関心・意欲・態度・創意工夫 作品評価

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力　c:創造的な技能　d:鑑賞の能力
※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。